

2022年度 第3回 ふれあい講座 実施報告書

実施日時	2022 年 10 月 21 日 (金) 19時から20時30分	
場所	JICA沖縄センター 体育館	
来場者数	49 人	
JICA日系研修員 (出身国)	ウラサキ ネベス マリアナ リエ、 タマナハ アレクサンドレ タカシ、 ナカザト クラウディア エリ、 タイラ テルヤ ルイザ ヨネコ、 ミアシロ ヤマダ レジナ ハルヨ、 パス・ダ・シルバ レアンドロ、 トーヤマ ヒノ ブルーノ ヒデキ	ブラジル出身
	トレホ アナ マヌエラ、	アルゼンチン出身
	チネン ルイス カズオ	ボリビア出身
当日の様子等 特記事項	<p>2022年度第3回ふれあい講座が、10月30日の「世界ウチナンチュの日と「第7回世界のウチナンチュ大会」に合わせた「移民と日系社会」をテーマに、JICA沖縄にて開催されました。JICA日系研修員として来沖しているブラジル出身者7名と、アルゼンチン出身者1名、ボリビア出身者1名をゲストに迎え、49名の参加者と交流会を行いました。</p> <p>ゲストのそれぞれの国の紹介では、観光名所や文化だけでなく、沖縄と各国の移民史等のつながりを感じる場面も紹介されました。各国の県人会で行われる季節感溢れる様々なイベントや、過酷でもエイサーが踊られていたり、日本庭園があったり、沖縄そばが食べられていたり、世界のオキナワを来場者の方々とも共有する事出来ました。</p> <p>国紹介後のふれあいタイム中の各国の写真が展示しているブースでは、『リオのカーニバルと一緒に踊ってみたい!』、『ウユニ塩湖すごいきれい!』、『エイサーの写真だけどブラジルなんだね!』、『自分たちよりも沖縄のお盆や祝い事が受け継がれている!』など、参加者からの感想や質問が飛び交い、時間があっという間に過ぎていきました。交流を通して移民先の国での県系人の生活や今でも根強く残る沖縄の文化を初めて知る方々もたくさんいらっしゃいました。</p> <p>フィナーレでは、ブラジルのトーヤマ ヒノ ブルーノ ヒデキさんが、弾き語り『Mundo a Robar(曲名)/Nanan』を披露していただきました。とても素敵な歌声でした。日本の裏側にある遠い国々であっても、それぞれの研修員のルーツが沖縄県内にあったり、日系社会に興味のある研修員がいたり、ウチナンチュの強い絆を感じる時間となりました。</p> <p>次回の第4回ふれあい講座は、12月16日(金)に、JICA沖縄にて開催されます。ご家族やご友人とご一緒にご参加ください。</p>	



JICA日系研修員の自己紹介



ブラジルの国紹介



アルゼンチンの国紹介



ボリビアの国紹介

会場の様子



パフォーマンスタイム・ふれあいタイム・集合写真